

読売新聞連携講座「魅力!迫力!!茨城の城—埋もれた中世遺跡がいま蘇る—」

【日時】 2017年12月2日(土) 13:30~16:30

【内容】 茨城県域(かつての常陸国、下総国北部)には、1000を越える中世の城跡が残されています。その多くはいまだに地下に眠ったままですが、土塁や堀、切岸の痕は、我々の生活空間のすぐそばで、今も見ることが出来ます。大学や自治体で城郭研究や発掘調査に携わる研究者、ブッシュに分け入り自分の足で多くの城跡を踏査してきた(つわもの)たちが集まる茨城城郭研究会の皆さんとともに、中世城郭研究の意義と城歩きの魅力について語り合しましょう。



取手山館跡の発掘調査

問題提起「茨城の中世城郭遺跡をめぐる現状と課題」

【講師】 高橋 修(茨城大学図書館長、人文社会科学部教授)

報告①(考古学から)「境目の城の実像—取手山館跡(小美玉市)の発掘調査—」

【講師】 本田 信之(小美玉市玉里史料館学芸員)

報告②(歴史学から)「戸村城跡(那珂市)を考える—茨城大学中世史研究会の調査活動の中から—」

【講師】 須貝 慎吾(茨城大学大学院生)

報告③(城郭史から)「私のイチ押し!茨城の城」

【講師】 五十嵐 雄大/岡田 武志/遠山 成一/西山 洋/本間 朋樹 他(茨城城郭研究会)

【会場】 茨城大学 講堂

【共催】 読売新聞水戸支局 茨城城郭研究会 茨城大学中世史研究会

【後援】 茨城県教育委員会

サイエンス・カフェ in 阿見

【日時】 2017年10月21日(土) 14:00~15:30

【講師】 浅木 直美(茨城大学農学部准教授)

【内容】 「身近な有機質資材を利用した作物栽培」

身近な有機質資材として、牛ふんや鶏ふんなどの家畜ふん堆肥や生ごみ堆肥があります。また、稲わらなどの作物残渣やレンガなどの緑肥も有機質資材の一つです。それらの有機質資材は化学肥料に比べて作物の生育にどれくらい貢献しているのでしょうか?どのように利用すれば上手に作物を育てることができるのでしょうか?作物を栽培する上での身近な有機質肥料の役割やその利用方法についてご紹介いたします。

【会場】 阿見キャンパス農学部分館1階ラーニングcommons



茨城大学では、土曜アカデミーの他にも社会連携センターにおいて公開講座・公開授業を開講しています。詳細は、茨城大学社会連携センターホームページ<http://www.scc.ibaraki.ac.jp>でご確認ください。

問合せ先 茨城大学社会連携センター 【社会教育担当】 TEL 029-228-8413

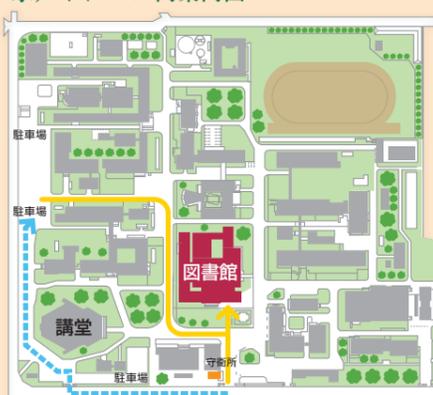
問合せ先 茨城大学水戸キャンパス 〒310-8512 水戸市文京2-1-1  
図書館 本館 TEL 029-228-8076 e-mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp  
茨城大学阿見キャンパス 〒300-0393 稲敷郡阿見町中央3-21-1  
図書館 農学部分館 TEL 029-888-8531 e-mail agr-lib@ml.ibaraki.ac.jp

水戸キャンパス



JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

水戸キャンパス内案内図



※車でお越しの際は、守衛所( )で入校許可証を受け取り、車で矢印( )の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

阿見キャンパス



JR土浦駅西口バスターミナル1番乗り場から関東鉄道バスで「阿見中央公民館行」に乗車、「茨大前」下車(約20分)  
※車でお越しの際は、学生駐車場をご利用ください。(開催日限り)

本事業は、自然災害等により中止となる場合があります。最新情報は、茨城大学図書館ホームページ<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>でご確認ください。

2017年度後期  
(2017.9~2018.2)

茨城大学図書館の  
土曜アカデミー

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び  
楽しむイベント、講座のご案内

すべての事業が  
無料です

申し込みも  
不要です

どなたでも  
ご参加  
いただけます

主催 茨城大学図書館

共催 茨城大学COC統括機構 社会連携センター  
後援 茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター

秋の文化財・歴史資料の曝涼・公開2017 プレイベント

【日時】 2017年9月30日(土) 13:00~15:00

【内容】

第一部 講演「佐竹一族の遺産 II—正宗寺とその周辺—」

【講師】 高橋 修(茨城大学図書館長、人文社会科学部教授)

第二部 ガイダンス「ここが見どころ!2017公開の文化財・歴史資料」

【講師】 助川 喜作(常陸太田市教育委員会 係長)/山口 憲一(常陸太田市教育委員会 主任)

中林 香澄(常陸太田市教育委員会 主幹)

額賀 大輔(笠間市教育委員会生涯学習課 主事)

千葉 隆司(かすみがうら市歴史博物館 学芸員)

文化財・歴史資料を、それを伝えてきた地域住民や所蔵者の手で、「曝涼」というローコストな昔ながらの手法で保存・公開する事業が、今年も4つの自治体で連続して開催されます。茨城大学で歴史を学ぶ学生たちも、解説に、「おもてなし」に活躍しています。このプレイベントでは、10月、11月の本番の前に、今年度公開される文化財・歴史資料の魅力を詳しく解説します。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【共催】 笠間市教育委員会 かすみがうら市教育委員会 常陸太田市教育委員会 常陸太宮市教育委員会

【後援】 茨城大学人文社会科学部歴史・文化遺産コース 茨城史料ネット



2016年度の事業より  
(常陸太田市正宗寺)

ビブリオバトル in 茨城大学

【日時】 2017年10月28日(土) 15:00~17:00

【進行・協力】 茨城大学学生サークル(マルチイベント企画団体Familia・文芸部)

【内容】 「本の魅力を伝え合う知的書評合戦!」

第4回目を迎える「ビブリオバトルin茨城大学」の開催が決定しました。発表参加者それぞれが「この本は面白い!」「この本を他の人にも読んで欲しい!」と思う「心の一冊」の魅力を5分間で語り、参加者全員が投票で「一番読みたくなった本No.1」を決める知的ゲームです。準備するのは、紹介する本だけでOK!ジャンルも自由!愛読書を手にも、あふれんばかりの書物愛を胸に、お集まりください。また、今年は全国大学ビブリオバトル2017茨城地区予選を兼ねることになりました。予選会の発表参加者は、大学生が対象となりますが、一般の部も開催します。この予選会を突破し、決戦大会を経て、東京での全国大会を目指しましょう!

発表参加希望者は事前申し込みが必要となります。詳細は図書館ホームページをご覧ください。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons

【共催】 茨城県ビブリオバトル実行委員会



## 岡倉天心セミナー vol.2&3

五浦美術文化研究所による秋の「岡倉天心セミナー」はヴォリュームアップのvol.2&3でお届けします。

【日時】 2017年11月18日(土)13:00~16:00

vol.2 新著を語る 『洋々無限 岡倉天心・覚三と由三郎』

【講師】 清水 恵美子(茨城大学五浦美術文化研究所所員、社会連携センター准教授)

【内容】 岡倉天心は有名ですが、彼の弟のことは知っていますか。名前は由三郎、『新英和辞典』(研究社)を編纂し、ラジオ英語講座を担当した英語学者です。幕末維新期に生を享け、国民国家形成期から戦前に至る激動の日本を走り抜けた岡倉兄弟。本書では、二人の活動を交互に照らし合わせ、影響しあう関係性を浮き彫りにしました。浮かび上がってきたのは、相互の信頼の深さ、兄の『茶の本』と弟の『ザ・ジャパニーズ・スピリット』との関係、弟から見た等身大の覚三(天心の本名)、そして兄の恋愛への弟の秘めたる想いです。岡倉兄弟の世界に浸ってみませんか。

vol.3 天心の遺産 五浦改造の意味

【講師】 小泉 晋弥(茨城大学五浦美術文化研究所副所長、教育学部教授)

【内容】 岡倉天心が、東京から茨城県に居を定めようとした明治36年(1903)、五浦はどのような姿だったのか。下村観山、横山大観、菱田春草、木村武山の四人の画家が自ら描いた五浦の家の図面と、五浦日本美術院研究所の図面を分析して、彼らがめざしたユートピアの姿を再構成してみたいと思います。また、明治20年以前のものとして推定される錦絵から、天心以前に五浦にユートピアを実現しようとした柴田稲作の業績も確認し、現在の五浦と比較して、これからの五浦を考える参考になりたいと思います。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【共催】 茨城大学五浦美術文化研究所



## 聞いてみっぺ・語ってみっぺ・方言昔話2

日曜開催!

【日時】 2017年11月19日(日)14:00~16:00

【講師】 杉本 妙子(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 本講座は、昨年に引き続き行う、方言昔話の会です。知っている昔話も、方言で語られるととても味わい深くなります。そして、同じお話でも方言によって違ったお話に聞こえてきます。それが、暮らしの中で育まれてきたことば=方言の力ですね。本講座では、茨城弁の昔話や東北弁の昔話などを、それぞれの地域出身の方々に語っていただきます。いろいろな地域の方言の昔話を皆さんといっしょに楽しみながら、方言について学んだり方言の動き・魅力を考えたりしたいと思います。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【後援】 文化庁委託事業の一環として(予定)、茨城県教育委員会(予定)



## 水戸ホーリーホックのフットボール・カフェ

日曜開催!

【日時】 2017年12月17日(日)13:00~15:00

【出演】 水戸ホーリーホック・トップチーム選手若干名(当日発表)

水戸ホーリーホック・普及部

寺田 忍(水戸ホーリーホックホームゲームスタジアムDJ、茨城大学OB)

ホーリーくん(水戸ホーリーホックマスコット)

【顧問】 藤縄 明彦(茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク代表代行、理学部教授)

【内容】 第一部「水戸ホーリーホックの『強化』と『育成』」

第二部「フットボールの青春—選手座談会—」

水戸市等をホームタウンとするプロサッカークラブ・水戸ホーリーホックと茨城大学は連携協定を結んでいます。両者のコラボで実現したフットボール・カフェ。今回、第一部では、クラブ・スタッフの皆さんに、水戸ホーリーホックの「強化」と「育成」の現実についてお話しいただきます。第二部にはトップチーム選手も登場。スタジアムDJを担当する寺田忍さんが、フットボールの魅力、Jリーグの素顔に迫ります。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【共催】 FC水戸ホーリーホック 【後援】 茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク



2016年度の会場風景

## みんなの考古学 どきどき講座2017

【日時】 2018年2月3日(土)15:00~16:30

【講師】 田中 裕(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 「躍動する3・4世紀の東関東—国家形成初期の列島におけるフロンティア拡大—」

列島の国家形成期、ヤマト王権は周辺異民族を征討しながら、徐々に支配領域を広げていった。私たちはそう理解していませんか。これは300年以上後の律令国家による蝦夷征討記事からの思い込みです。卑弥呼の時代にあたる古墳成立前夜(3世紀前半)は、各地の文物が行き交い混ざり合う未曾有の「大交流」時代でした。そして、古墳の登場とともに、列島の大半がヤマト王権の傘下に入ります。このとき、東関東(千葉県・茨城県)の人々が奇妙な動きをしたことがわかってきました。本学の小美玉市羽黒古墳調査成果等を紹介しながら、当時、急激なフロンティア拡大の原動力となった人々の動きとその後の悲劇について考えます。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【後援】 茨城大学考古学研究会



小美玉市羽黒古墳調査風景

## 古文書寺子屋 はじめの一歩

【日時】 2018年2月17日(土)13:00~16:00

【講師】 添田 仁(茨城大学人文社会科学部准教授)

千葉 真由美(茨城大学教育学部准教授)

木戸 之都子(茨城大学人文社会科学部助手)

【内容】 大学生と一緒に、江戸時代の古文書を読んでみませんか?江戸時代の「茨城」に生きた人びとのすがたを、主に茨城大学図書館に収められている古文書から読み解いてみたいと思います。古文書は、江戸時代を生きた人々からのメッセージです。そのメッセージのつまったタイムカプセルを開けるかぎが「くずし字」です。基礎からじっくり学びたい方、大歓迎です。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ

【後援】 人文社会科学部添田ゼミ 教育学部千葉ゼミ 茨城史料ネット



## ICASサステナ 対話の広場

①【日時】 2017年10月15日(日)15:00~17:00

日曜開催!

【内容】 「多様性って何だろう?」

多様性という、生物多様性のことを想像する人も多いと思います。生物は多様な方が生物や生態系にとって、また人間にとっても利益をもたらすという考え方のもと、生物多様性条約が制定されました。では、人間社会はどうでしょうか。なぜ、社会において多様性がもたらされるのか考えてみませんか。

【コーディネーター】 原口 弥生(茨城大学人文社会科学部教授)

②【日時】 2017年11月4日(土)15:00~17:00

【内容】 「共生って何だろう?」

つながることで見えてくる新しい世界:ヒトはヒトだけでない、植物は植物だけでないって知っていますか?これらには、共生する微生物がいて、重要な役割を果たしています。今回は、「共生」をキーワードとして、植物の生育を支える微生物の働きをとりあげ、生態系における微生物—植物、さらに人への「つながり」を共に考えましょう。

【コーディネーター】 成澤 才彦(茨城大学農学部教授)



茨城大学では、21世紀になって生まれたサステナビリティ学(持続可能性学)の諸問題に、地球変動適応科学研究機関(ICAS)が中心となって取り組んでいます。今回の講座は、サステナ(持続可能性)をキーワードに、それを実現させていく具体的な方策と展望を対話の中から見出していきます。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングコモンズ

【後援】 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)

## ブック・カフェ

①【日 時】 2017年10月28日(土)13:00~14:45

【テキスト】 ウェブスター『あしながおじさん』(光文社古典新訳文庫など)

読み終わったとき、幸せな気持ちになる、すてきな作品です。いきいきと描かれる学生生活と、恋の物語を読み、作品の魅力について語り合しましょう。

②【日 時】 2017年11月4日(土)13:00~14:45

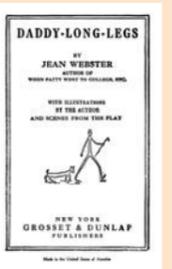
【テキスト】 E.M.フォスター『眺めのいい部屋』(ちくま文庫など)

ジェームズ・アイヴォーリー監督、1986年制作の映画作品も高く評価されています。先に映画をご覧になり、これから小説を読んでみようという方も歓迎です。

③【日 時】 2018年2月3日(土)13:00~14:45

【テキスト】 宮澤賢治『注文の多い料理店』(新潮文庫など)

一度読んだことのある作品でも、読み直したときに、新たな感想を得ることも多いものです。宮澤賢治の作品(表題作のほか、「銀河鉄道の夜」「セロ弾きのゴーシュ」など、どれでも)についても、そんな新たな発見、今の感想を話し合ってみてほしいと思います。



英語版「あしながおじさん」

【ナビゲーター(講師)】 西野 由希子(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。はじめて参加する方なども気軽においでください。読書の幅を広げ、本を読む楽しさを味わいましょう!

\*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。できるだけ事前に読み、当日その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。

\*お飲み物は各自ご負担いただけます。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)

【後援】 人文社会科学部西野ゼミ

